

花粉発生源対策等の取組状況

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、令和6年度の実施事業で、スギ人工林の伐採・植替え、花粉の少ない苗木を生産するための施設やスギ材需要の拡大をはかるための製材工場等の整備等を推進。

■ スギ人工林の伐採・植替え等



伐採・植替え箇所（滋賀県）

➤ (10年後)花粉発生源のスギ人工林約2割減少(2,000ha/年 増)

・条件が不利な森林等の伐採・植替えのため930haを支援。

注) 令和6年度の伐採面積は令和8年頃に実績が把握できる見込み。



薬剤の空中散布試験（栃木県）

➤ 花粉の飛散を防止する薬剤の早期実用化(5年後を目処)

・森林総合研究所、東京農業大学による空中散布試験。
・農薬登録申請に向けたデータ収集を実施。

■ スギ材需要の拡大

➤ (10年後)スギ材需要量 470万 m^3 増



スギ材を加工する機械の導入

・製材工場、集成材工場等の整備を支援。

スギの年間利用可能量
約49万 m^3 増

■ 花粉の少ない苗木の生産拡大

➤ (10年後)花粉の少ない苗木の生産割合 5割→9割

原種苗木の増産



採種園・採穂園の造成に必要な「原種苗木」を増産する施設の整備が完了。

〈(国研) 森林研究・整備機構〉

↓ 原種苗木の配布

種穂の増産



苗木生産に必要な種子や穂木を生産する採種園・採穂園を整備。

〈都道府県等〉

↓ 種子や穂木の供給

苗木の増産



コンテナ苗生産施設を整備。
〈苗木生産事業者〉

花粉の少ない苗木の年間供給可能量
約300万本増

花粉症解決に向けた緊急総合対策＜一部公共＞

＜対策のポイント＞
「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材の需要拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉の飛散量の予測、花粉の飛散防止、スギ花粉米の安全性・有効性の検証等の総合的な対策を推進します。また、森林整備事業においても、スギ人工林伐採重点区域における林業専用道の整備等を支援します。

＜事業目標＞
スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減〔令和15年度まで〕、5割削減〔令和35年度まで〕）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1.花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策 5,635百万円

① **スギ人工林の伐採・植替え等の加速化**
スギ人工林伐採重点区域における、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業、森林所有者への働きかけ支援による**森林の集約化**を支援します。

② **スギ材の需要拡大**
住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進、集成材工場や保管施設等の整備等を支援します。

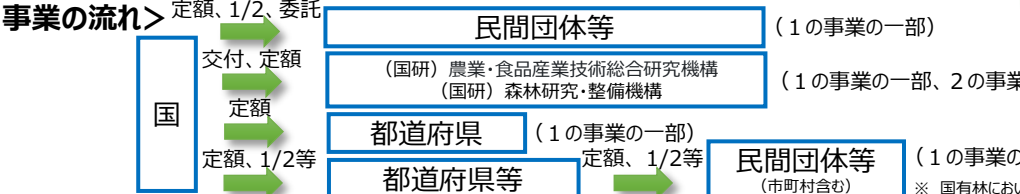
③ **花粉の少ない苗木の生産拡大**
官民を挙げた苗木増産等の体制強化、革新的苗木生産技術の開発加速化、花粉の少ない苗木の広域流通を支援します。

④ **林業の生産性向上及び労働力の確保**
意欲ある木材加工業者等に対する高性能林業機械の導入、農業や建設業など他産業との連携等を支援します。

⑤ **花粉飛散量の予測・飛散防止**
花粉飛散予測の向上に向けた森林資源情報の高度化、森林現場における花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査の実施を支援します。

（関連事業）林業・木材産業国際競争力強化総合対策＜一部公共＞ 45,853百万円の内数

2.スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証 21百万円
実用化に向け、動物等を用いた作用機序や安全性・有効性のデータの取得を進めます。



発生源対策

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域において
・伐採・植替えの一貫作業と路網整備を推進
・森林所有者への働きかけ支援による森林の集約化の促進

＜路網の整備＞ ＜植替え＞

スギ材需要の拡大

・住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進
・集成材工場、保管施設等の整備 等

＜スギJAS集成材＞

花粉の少ない苗木の生産拡大

・森林研究・整備機構における原種苗木増産
・都道府県による種穂増産
・民間事業者による苗木増産等の体制強化
・苗木生産に係る革新的技術の開発加速化
・苗木の生産量が多い産地から少ない地域への供給の促進

＜原種増産施設＞ ＜閉鎖型採種園＞

飛散対策

花粉飛散量の予測

・花粉飛散予測に向けた森林資源情報の高度化を推進

＜林相区分図の整備＞

花粉の飛散防止

・森林現場で花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査を支援

＜花粉飛散防止剤により枯死した雄花＞

発症・曝露対策

スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証

・動物等を用いたスギ花粉米※の作用機序や安全性・有効性のデータの取得

※構造を改変したスギ花粉症の原因物質をコメに蓄積させ、免疫寛容を誘導する（スギ花粉に慣れ、アレルギー反応が起きなくなる）新しい治療法

【お問い合わせ先】
（1の個別事業のお問い合わせ先は次頁参照）

1の事業 林野庁森林利用課（03-3501-3845）
2の事業 農林水産技術会議事務局研究開発官室（基礎・基盤・環境）（03-3502-0536）

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち
花粉の少ない森林への転換促進対策

【令和7年度予算概算決定額 65（39）百万円】
（令和6年度補正予算額（花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策） 5,635百万円）

<対策のポイント>

花粉の少ない苗木の生産拡大に向けた**細胞増殖による苗木大量増産技術**の開発や花粉の飛散量の予測に資するための**スギ雄花の花芽調査**等を進めるとともに、林野庁が実施する**花粉症対策の普及啓発**等を実施します。

<事業目標>

- スギ苗木の年間生産量に占める花粉の少ない苗木の割合の増加（約5割〔令和3年度〕 → 9割以上〔令和15年度まで〕）
- スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比約2割削減〔令和15年度まで〕、約5割削減〔令和35年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 効果的な花粉発生源対策の実施に向けた普及及び調査

花粉発生源対策に係る国や都道府県等の取組の成果を普及するとともに、花粉発生源対策をより効果的に実施するために必要な因子の抽出・分析手法の検討等を支援します。

2. 細胞増殖による苗木大量増産技術の開発

細胞増殖技術を用いて、スギの未熟種子から苗木を大量増産する技術の開発を支援します。

3. スギ雄花花芽調査等の推進

花粉飛散予測に資するスギ雄花花芽調査のためにスギ雄花の着花状況等を調査するとともに、ドローンの活用等による効率的かつ高精度な着花量推定手法の開発を支援します。

（関連事業）

（R6年度補正予算）花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策

5,635百万円

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大等の総合的な対策を緊急に支援します。

<事業の流れ>

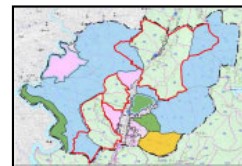


1. 効果的な花粉発生源対策の実施に向けた普及及び調査

・国や都道府県等の取組の成果を普及



・植替えを促進すべき森林の「見える化」のイメージ



林業事業体、森林所有者等への理解の醸成

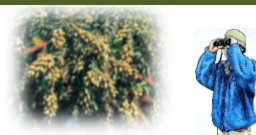
2. 細胞増殖による苗木大量増産技術の開発

・細胞増殖技術を用いて、スギの未熟種子から苗木を大量増産する技術の開発



3. スギ雄花花芽調査等の推進

・スギ雄花の着花状況等の調査
・ドローンの活用等による効率的かつ高精度な着花量推定手法の開発



【お問い合わせ先】（1、3の事業）林野庁森林利用課（03-3501-3845）
（2の事業）研究指導課（03-6744-2312）